

MACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2004-2 CYCLE)

Experimental Group	T562	Reporter	足立 一郎
Scheduled Period and Shift	6/24 17:00より 7/1 9:00 20シフト	Main, Sub, Para	メイン
Experimenters 住吉（都立大）足立（KEK）その他リュブリアナ大など			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p>今回のテスト実験では、以下の項目についてテストを実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> エアロジェル輻射体の組み合わせをかえることによる、チェレンコフ角分解能と得られる光量の系統的なスタディ 新しハイブリッドアバランシェ光検出器（HAPD）によるチェレンコフイメージの測定。 HAPD読み出し回路によるデータ収集。 <p>まず、1については系統的なデータ収集はできたが、2については、HAPDが途中で高電圧がかからなくなり、新たなHAPDを投入せざる得なかった。一方、3の読み出し回路については、準備不足もあって使用できなかったが、バックアップ用の回路でデータ収集を行うことになった。データについては詳細な解析が進行中である。今後、PSの状況にもよるが、可能ならもう一度光検出器及び読み出し回路についてテストを実施したいと考える。</p>			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>ビーム状況は非常に安定であった。</p>			
<p>COMMENTS</p>			